

イベント予告 薩摩偉人維新伝心隊による

「維新演劇シアター」2025



史実に創作を織り交ぜた現代風歴史物語を、役者扮する鹿児島ゆかりの偉人たちが、身近にわかりやすく語る「維新演劇シアター」が1月1日、元日に上演します。是非熱いステージをご覧ください！

日本の近代化に貢献した留学生を讃える像「若き薩摩の群像」その頂点に立つ男、町田久成！

なぜ彼は、東京・上野にある国立博物館の初代館長になったのか!?その謎と一緒に紐解きましょう！



上演スケジュール

演目 西郷さん町田さんの『あかつきミュージアム!』

〈日程〉2026年1月1日(木・元日)
〈上演時間〉12:30～13:00(30分間)
〈会場〉維新ふるさと館 地下「維新体感ホール」
〈観覧料〉無料(入館料のみ)

—— 臨時休館のお知らせ ——

令和8年1月14日(水)～2月9日(月)、
2月11日(水)～15日(日)、18日(水)

館内工事に伴い、左記の期間が臨時休館となります。なお、休館中もご予約等のお問い合わせは通常通り承ります。詳しくはホームページをご覧ください。
※工事の都合により休館期間が変わる場合があります。



温故地新

ふる 故きを 温ね、地元を新たに。

■「薩摩の武家屋敷群『麓』を歩く 4」

～日新公のお膝元加世田麓と特攻平和祈念館～

11月25日(火)に30名の参加者の皆さんと副館長兼歴史解説員の佐々木幸男先生と一緒に加世田の麓を巡り旧猪鹿倉邸の室内見学、志耕庵では加世田鍛冶体験、鮫島博家住宅ではお茶の振る舞いなど盛り沢山の一日となりました。

また、万世特攻平和祈念館では貴重なお話を伺い、昼食はガンバリーナかせだで特別メニューの美味しいお食事をいただきました。

参加者の皆さんから「初めて参加しましたが、良い経験をさせてもらいました」や「ツアーの内容が盛り沢山で楽しかった」や「体験があり大変楽しかった」とのお声をいただきました。ご参加いただいた皆さんありがとうございました。



◀お茶の振る舞い



◀加世田麓巡り



◀鍛冶体験

イベント予告

こままし・おりがみあそび体験会を開催します！

こまましあそび体験会とおりがみあそび体験会を下記の日程で13時から16時まで開催いたします。

季節感や鹿児島の文化・自然・風習等、色々な種類のこまましやおりがみを通して楽しんでいただきたいと思います。皆様のご参加お待ちしております。



◀こままし

◀おりがみ「桜島」

2026年1月3日(土)「こままし体験会」
維新ふるさと館1階
ゆくさ おさいじゃした通り特設コーナー

2026年2月28日(土)
「おりがみあそび体験会(桜島)」
維新ふるさと館1階 あそんでみんせコーナー

開催スケジュール



明治維新を分かりやすく、楽しく
維新

2026 WINTER
維新ふるさと館情報紙/No.53

200郷
隆盛
生誕200年・没後150年記念

斉興、久光が愛でた大名庭園
「旧島津氏玉里邸庭園」

(鹿児島市玉里町)



玉里邸は、島津家27代当主^{なりおき}斉興が天保6年(1835)に造営した別邸です。斉興の別称「玉印」が名称の由来です。西南戦争で焼失しましたが、明治12年(1879)斉興の五男で玉里島津家初代当主である久光^{ひさみつ}が再築し、玉里島津家の本邸としました。建坪は386坪5合(434畳半敷)でした。久光は、明治20年(1887)に亡くなり、国葬が執り行われた際に黒門が建てられ、新設された国道3号までの約700mの直線道路が国葬道路と呼ばれています。

玉里邸は、玉里島津家が東京に移った後は別邸となっていました。第二次世界大戦によって、茶室、武家長屋、長屋門、黒門以外の建造物はすべて焼失しました。戦後、鹿児島市が買収し、昭和34年(1959)4月に鹿児島女子高等学校が移転開校しました。

現在の庭園は、斉興が作庭し、久光が玉里邸を再築した際に改修整備したものと考えられます。玉里邸主屋があった女子高のグラウンド南側には書院座敷に面して池庭があり上御庭と呼ばれます。敷地西部の一段下がった低地には茶室と庭園からなる下御庭があります。

上御庭は、玉里上水からの水が細流となって亀の池に流れ込んでいましたが、現在は地下水を代用していま

す。かつて邸宅書院から眺められた築山林泉庭の上御庭は、池の中島は亀を象っており、築山や灯籠、借景も見所で、年数回の特別公開の際のみ見学できます。

一般公開されている下御庭は、北寄りに茶室が建ち、その南正面に池庭が広がります。茶室東側には滝流れがあり、水音を立てつつ正面の大石橋をくぐり滝となって鶴の池に注ぎます。池は、中島、岩島、東から伸びる岬で三島一連を構成し、茶室の縁に座って眺める景色は見事です。磯から53に分割して運び込まれた巨石、獅子載り山灯籠、朝鮮灯籠等も見ものです。下御庭は、回遊式庭園と呼ばれ、池を中心とした園路を巡りながら、どこからでも南九州独特の趣向を凝らした景色が楽しめます。園路の途中に配された飛び石や段差等は、散策する人の視線を切り、顔を上げるとそれまでの景色と異なった景色を見せる工夫となっています。

「旧島津氏玉里邸庭園」は、学術上・芸術上・観賞上の価値が高く、平成19年(2007)に国の記念物(名勝)に指定されました。無料で見学できる大名庭園を散策しながら、作庭と同じ年に生まれた、篤姫、小松帯刀、五代友厚、坂本龍馬らに想いをはせてはいかがでしょうか。

(文・佐々木幸男 維新ふるさと館 副館長兼歴史解説員)

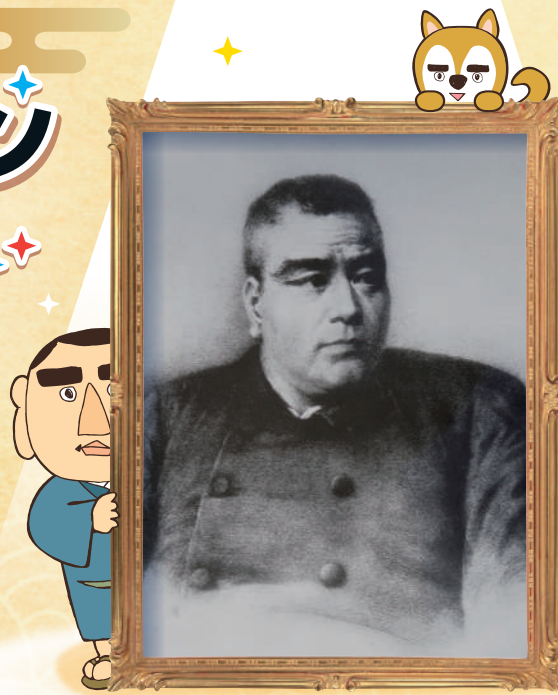
カウントダウン 新春クイズ

新年あけましておめでとうございます。

維新ふるさと館は、今年も鹿児島の歴史観光施設として、郷土の歴史を「楽しく、分かりやすく」紹介してまいります。

令和9年度に「西郷隆盛の生誕200年・没後150年」という大きな節目を迎えるにあたり、令和8年からその機運を高めるため、今回は西郷隆盛に関連したクイズを出題いたします。

クイズ全問正解者の中から抽選で、素敵な景品をプレゼントいたします。みなさんのご応募、お待ちしております。



西郷南洲顕彰館蔵

西郷隆盛生誕200年・没後150年 カウントダウン新春クイズ

【少年・青年期～島津斉彬時代編】

Q1 西郷は、下加治屋町に生まれ育ち、郷中教育を学びましたが、13歳になったとき、藩の学校にも通い始めました。その**学校の名称は何**というのでしょうか。

Q2 西郷は、18歳になった弘化元年(1844年)、初めての仕事で、農村を廻って出来高を調べ、年貢を取り立てる役の助手を務めますが、その**役名は何**というのでしょうか。

Q3 西郷は、長年勤めていた農政に関する意見書が島津斉彬に認められ、斉彬が参勤交代で江戸に出府する際、ある職に抜擢され共に出府することになります。その**職名は何**というのでしょうか。

Q4 島津斉彬は、江戸藩邸に到着すると、西郷をある役職に任命します。その役とは斉彬と庭先で拝謁し、非公式の密令をうけて隠密に行動し、情報を集めて報告する役目ですが、**何という役名**でしょうか。

Q5 安政5年(1858年)西郷は、井伊直弼の「安政の大獄」で追われる身となった、京都清水寺の月照上人とともに、錦江湾に入水を図りますが、一命を取り留めます。藩は西郷を死んだ者と報告し、幕府の目から隠すため、名前を変名させ奄美大島に潜居させました。西郷は、一族のルーツに関係する名前に変名しましたが、その**名前は何**でしょうか。

答え

1

2

3

4 5

【応募方法】

①WEBによる応募(推奨)

こちらのQRコードをスマートフォン等で読み取り、回答フォームに答え等を入力し、送信する。



②ハガキ又はFAXによる応募

ハガキ又はFAXで、①答え(1～5) ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥電話番号を記入し、「維新ふるさと館 新春クイズ係」宛に送る。

※当選者には、景品の引換券をお送りします。
景品は、当館にて引換券と交換でお渡しいたします。

【応募締切】

令和8年1月20日(火)必着

【送り先・問い合わせ】

〒892-0846 鹿児島市加治屋町23-1
鹿児島市維新ふるさと館 新春クイズ 係
TEL 099-239-7700 FAX 099-239-7800
※応募いただいた方の個人情報、抽選及び景品引換券の発送のみに使用いたします。

イベント予告 令和7年度「歴史シンポジウム」開催!

毎年ご好評をいただいている歴史シンポジウムを、今年も開催いたします。2年後の令和9年度には、郷土に愛され、全国に多くのファンを持つ西郷隆盛の「生誕200年・没後150年」という、歴史的にも大きな節目が訪れます。その節目を目前に控える今こそ、西郷隆盛の人物像や功績、そして現代に受け継がれる精神を改めて見つめ直す絶好の機会です。

今年のシンポジウムでは、皆さまとともにその歩みをたどり、新たな視点や学びを共有できる場として、さらに充実した内容をお届けいたします。

歴史に触れ、未来へつなぐひとときを一緒にできれば幸いです。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



昨年度の様子

イベント詳細



テーマ「待ちきれない! 西郷隆盛生誕200年・没後150年まであと2年 ～西郷隆盛の魅力がいっぱい～」

〈日程〉2026年1月25日(日)
13:30～16:30
〈会場〉サンエールかごしま 講堂
(入場無料)
〈定員〉300名(事前申込み)
※応募多数の場合は抽選

〈オープニング〉薩摩偉人維新伝心隊による維新演劇シアター
〈講演〉リレートーク
「西郷隆盛が好かれる理由～西郷隆盛に惹かれた私～」
安川 あかね氏(城山ホテル鹿児島企画広報部長)
「西郷家ゆかりの鹿児島スポットと家」
下豊留 佳奈氏(第一工科大学非常勤講師)
「西郷隆盛生誕200年・没後150年プロジェクト」
肥後 秀昭氏(鹿児島市維新ふるさと館特別顧問)
〈進行〉佐々木 幸男(維新ふるさと館副館長兼歴史解説員)

イベント 第18回西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展



▲西郷南洲大賞



▲受賞作品

西郷が没した9月24日をはさむ9月20日(土)～10月19日(日)まで30日間、西郷隆盛をしのぶ維新ふるさと館書道展が開催されました。

今年も全国から多くの作品が集まり、小・中学校の部と高校・一般の部に1,677点、そのうち特別賞・特選・入選に509点が決定しました。

表彰式には埼玉、栃木、岡山など県外からも出席があり、賑わいました。

イベント 型抜き菓子体験会

当館では初めての催しとなる型抜き菓子体験会を10月25日(土)に開催しました。

沢山の方にご参加いただき「親子で楽しめて良い思い出になりました」や「初めて体験したがとても楽しかった」などの感想が寄せられました。

大人の方も童心にかえり、夢中になって真剣に取り組んでいる姿も多く見られました。

